

研究会開催通知

(昭和53年5月15日～6月30日)

| 研究会 | 日 | 時 | 会場 | 備考 |
|---------------|----------|-------------|--------|------|
| イメージ・プロセッシング | 5月16日(火) | 13:30～17:00 | 京都大学 | 前号参照 |
| 記号処理 | 5月19日(金) | 13:00～17:30 | 理化学研究所 | 同上 |
| コンピュータ・ネットワーク | 5月24日(水) | 14:00～17:00 | 機械振興会館 | 同上 |
| 計算言語学 | 5月26日(金) | 14:00～17:00 | 同上 | 同上 |
| ソフトウェア工学 | 5月31日(水) | 14:00～17:00 | 同上 | 下記参照 |
| 計算機システムの解析と制御 | 6月1日(木) | 14:00～17:00 | 同上 | 同上 |
| マイクロコンピュータ | 6月14日(水) | 14:00～17:00 | 同上 | 同上 |
| 人工知能と対話技法 | 6月16日(金) | 14:00～17:00 | 同上 | 同上 |
| 計算機アーキテクチャ | 6月21日(水) | 14:00～17:00 | 同上 | 同上 |

◆ 第6回 ソフトウェア工学研究会

(主査: 国井利泰, 代表幹事: 斉藤信男, 大野尙郎, 原田賢一)

- 日 時 昭和53年5月31日(水) 午後2時～5時
会 場 機械振興会館 地下3階1号室
〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町駅・都営1号線大門駅・都営6号線御成門駅下車, 国電: 浜松町駅下車, バス: 新橋一汐谷線東京タワー・等々力一東京駅八重洲口線飯倉1丁目下車, Tel. 03(434)8211〕
- 議 題 (1) 海外における最近のソフトウェア工学の動向
吉村鉄太郎(管理工学研究所), 玉井哲雄(三菱・総研)
(2) Simpl プログラムのデータフロー解析とその応用 原田賢一(慶大)

◆ 第1回 計算機システムの解析と制御研究会

(主査: 高橋延匡, 代表幹事: 亀田壽夫, 益田隆司)

- 日 時 昭和53年6月1日(木) 午後2時～5時
会 場 機械振興会館6階65号室〔所在地は前記参照〕
- 議 題 (1) Analytic Models for Computer performance
Hisashi Kobayashi (日本 IBM)
〔概要〕 計算機システムの解析あるいは性能評価のための analytic modeling—queuing models 特に queuing network models—とその解析手法について述べる。
(2) Statistical Considerations in Simulation
Hisashi Kobayashi (日本 IBM)

〔概要〕 シミュレーションの実行およびその結果を評価するための統計的手法——例えば Regenerative Method——について述べる。

(3) Remarks on Parametric Analysis of Queuing Networks in Relation to Computational Algorithms

Tong-Haing Fin (東工大) & Hisao Kameda (電通大)

〔概要〕 Chandy らによる待ち行列網の等価ネットワークによる解析を拡張し、効率的な計算アルゴリズムとの関係を論ずる。

◆ 第5回 マイクロコンピュータ研究会 (主査: 森 亮一, 代表幹事: 田島守彦)

日 時 昭和53年6月14日(水) 午後2時~5時

会 場 機械振興会館6階65号室〔所在地は前記参照〕

議 題 (1) パーソナル・データ処理システム (PDPS) の試作

阿江 忠, 照井善雄, 菅原 淳, 輝平盛重 (広島大・工)

〔概要〕 個人的に生じるいろいろなデータ処理 (例えば, 事務計算, 成績処理, 趣味対象の記録整理, 住所録, 文献整理など) を気軽に行えるシステムの試作を行った。試作したハードウェアは内部記憶 (ROM 4~8 KB, RAM 12 KB), カセットレコーダそれに I/O からなり, 大体汎用マイクロコンピュータと同規模である。これに先のような処理を目的として開発中のパーソナル・データ処理言語 (PDL) のインタプリタをインプリメントした結果を報告する。

(2) 日立製作所におけるマイクロコンピュータ応用の現状

石川知雄 (日立)

〔概要〕 マイクロコンピュータの応用状況をのべると共に, 応用に当っての全社的な取組み方につきのべる。

(3) 三菱電機におけるマイクロコンピュータ応用の現状と展望

千葉 正 (三菱)

〔概要〕 応用の現状は①電算機周辺機器, 各種通信制御装置, ②重電, 産業機器, ③家電民生機器にわけて考えるのがまとめやすい。本報告でその概観, 問題点と今後の展望, 更にこれ等応用促進のための施策としての組織活動の一端を報告する。

(4) 計測制御システムからみたマイコン応用の現状と展望

渡辺征二 (東芝)

〔概要〕 計測制御からみて, 少量製品 (多種) に対しいかにマイコンを応用し標準化をはかって, 多目的応用に適用したかを紹介。

◆ 第5回 人工知能と対話技法研究会

(主査: 田中幸吉, 代表幹事: 白井良明, 田村進一)

日 時 昭和53年6月16日(金) 午後2時~5時

会 場 京都大学工学部電気総合館3階大会議室

〔京都市左京区吉田本町, 京都駅より市電②京大農学部前⑥百万遍下車, 市バス⑥百万遍下車徒歩5分, Tel. 075(751)2111〕

- 議 題 (1) 内部知識表現 S-NET とそれを用いた問題解決システム
辻井潤一 (京大・工)
〔概要〕 セマンティック・ネットワーク S-NET を定式化し、これを一般の問題解決のための知識表現形として使用したシステムについて報告する。
- (2) 京大工学部坂井研究室および長尾研究室の見学

◆ 第 23 回 計算機アーキテクチャ研究会

(主査: 石井 治, 代表幹事: 有澤 博, 内田俊一)

- 日 時 昭和53年6月21日(水)午後2時~5時
会 場 機械振興会館地下3階1号室〔所在地は前記参照〕
- 議 題 (1) 並列処理実験装置とその OS
高橋義造 (徳島大・工), 吉村 晋 (東芝)
〔概要〕 ワンボード CPU, TOSBAC-40L, 16 台をプロセッサ間割込装置と共通メモリで持続したマルチプロセッサと, この装置のための OS について述べる。
- (2) Passive. Memoryless—Multi-Processor 寺田浩詔 (阪大)
〔概要〕 リソース割り当てに関して受動的であり, かつ, 共有メモリへのアクセスに関しても受動的に構成されたマルチプロセッサ・アーキテクチャについて述べる。
- (3) 1978 NCC 報告 相磯秀夫 (慶大)
〔概要〕 1978 NCC より話題を選んで報告する。

創立 20 周年記念論文の公募について

情報処理学会では創立 20 周年を記念して, 下記により「記念論文」を公募することになりました。会員の皆様には奮って応募されますようご案内いたします。

1. 応募資格

情報処理学会の会員 (正会員又は学生会員) であること。応募論文は下記の部門に分けて審査する。

第 1 部門 昭和 54 年 3 月末現在の学生会員又は 30 歳未満の正会員を対象とする。

第 2 部門 第 1 部門以外の正会員を対象とする。

ただし, 同一論文に第 1, 第 2 両部門の対象となる会員が含まれる場合は第 2 部門として取扱う。

2. 論文の性格と書き方

- ア. 情報処理に関するオリジナルな論文であること。
- イ. 「情報処理」原稿執筆案内の書き方によるが、制限ページ数は12ページとする。ただし、論文はできるだけ簡けつにまとめることが望ましい。
- ウ. 論文は邦文に限る。
- エ. 論文には応募資格部門を明記すること。
- オ. 論文は正およびコピー5部を提出すること。

3. 応募方法と論文の書き方

- ア. 応募論文の受付期間は昭和54年1月1日から8月31日までとする。
 - イ. 応募論文は記念論文査読委員の査読に基づき、記念論文選考委員会で採否を決定する。原則として論文の著者に照会することはしないが、採択決定後に執筆について助言することがある。
 - ウ. 記念論文選考委員会は第1部門および第2部門につき、それぞれ下記を限度として受賞論文を選定する。

| | |
|-------|------|
| 第1部門: | 3件以内 |
| 第2部門: | 5件以内 |
- 上記の受賞論文のうち、特に優秀なもの3件以内を入選論文とし、その他を佳作論文とする。
- エ. 選考結果は昭和54年12月31日までに論文の著者に通知する。
 - オ. 選考結果は「創立20周年記念式典」において公表し、受賞論文の表彰を行う。
 - カ. 受賞論文は「創立20周年記念論文特集号」に掲載し、又「創立20周年記念全国大会」において講演発表する。
 - キ. 応募論文はIFIP Congress 80の論文と重複しないよう注意すること。重複した場合は受賞を取り消すことがある。
 - ク. 入賞しなかった論文は著者の希望により一般論文扱いとする。

4. 表 彰

- ア. 各入選論文の著者の1人（原則として第一著者）に対しIFIP Congress 80参加費（日本—オーストラリア間交通費、会期中のオーストラリア滞在費、および登録費）を学会が負担する。ただし、参加者はIFIP Congress 80報告書を提出する。
- イ. 各佳作論文の著者1人（原則として第一著者）に対しIFIP Congress 80登録費を学会が負担する。
- ウ. 受賞論文のすべての著者に対して表彰状および記念品を授与する。
- エ. 受賞論文1編につき論文別刷100部を贈呈する。

5. そ の 他

不明の事項については本学会事務局に問合せること。

欧文誌の原稿募集について

本年4月に欧文誌“Journal of Information Processing”を創刊いたしました。同誌に論文発表を希望される会員は、下記を参照のうえ原稿を寄せられるようご案内いたします。

1. 欧文誌発行の目的

わが国の情報処理の研究水準向上のため、情報処理に関する諸研究の国際交流をはかる。

2. 発行計画

(1) 50ページ×4回/年=200ページ、A4判

(2) 純学術研究発表誌とし、PaperとShort Noteを募集する。

(i) Paper(原則として刷上り8ページ以内)——「情報処理」掲載の論文と同じ査読規準に基づき、欧文誌編集委員会で採録を認められた欧文論文。

(ii) Short Note(2ページ以内に限る)——「情報処理」掲載のショート・ノートに準じて、採録を認められた欧文による小論文。

3. 「情報処理」との関連

PaperとShort Noteの和文アブストラクトを「情報処理」に掲載する。

4. 論文原稿の書き方

(1) 用紙はA4判(21cm×30cm)の白紙を使い、1行65ストローク、ダブルスペースで上下3cm(強)の余白を残し、パラグラフは初めを5~6字分あける。この様式で原稿をタイプした場合(図表なしで)24枚で、欧文誌刷上り8ページに当る。なおお文章中指定のない場合の記号は立体、数式中の記号は斜体(イタリック)となる。

(2) 査読の都合上、タイトル、氏名、所属およびアブストラクトを和英両語で別紙に記述する。なお和文アブストラクトは英文アブストラクトの邦訳とする。

(i) Paperのアブストラクト——200語以内

(ii) Short Noteのアブストラクト——50語以内

(3) 図表(写真を含む)は、完成図(そのまま縮小製版できるもので、縮版した場合の希望のできあがり寸法を指定する。なお、文字は縮版のさいも読める大きさに書く。)を本文と別にし、説明文は別紙にまとめてタイプし、本文の末尾につける。ただし原稿中に図表のそう入場所を指定する。

(4) 寄稿のさいキーワード表を添付する。(用紙は欧文誌係にご請求ください。)

5. 原稿の送付

(1) オリジナル原稿とコピー3部、計4部を送付する。

(2) 送付先: 情報処理学会「欧文誌係」

〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 号

6. 別刷料

下記の通り別刷100部を印刷実費の一部として、ご負担いただきます。

| ページ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|-----|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 別刷料 | 5,000 | 10,000 | 15,000 | 20,000 | 25,000 | 30,000 | 35,000 | 40,000 | 55,000 | 70,000 |



第3回 日米コンピュータ会議

—カタログ展示会、参加者団体便のご案内—

第3回日米コンピュータ会議の準備は、日米双方の運営委員会で順調にすすめられており、現在は発表論文について、慎重に選考が行われております。

会議への参加募集は6月に配布予定の第2回サーキュラ（本誌上にも掲載予定）によって正式に開始されますが、本号では、現在すでに決定をみた**前納参加申込み**、**団体便利用の各要項**、**カタログ展示会への出展**をお知らせいたしますので、できるだけご利用ください。なお不明の点があれば、事務局までお問い合わせください。

参加費（前納申込み） 約 23,000 円（プロシーディング代金含む）

1978年9月14日(木) 締切

団体便のご案内

| コース | A (248,000 円) | | B (259,000 円) | |
|-----|------------------------|-----|---|------|
| 日程 | 10月8日(日)~15日(日) | 8日間 | 10月8日(日)~22日(日) | 15日間 |
| 行程 | 東京⇄サンフランシスコ | | 東京→サンフランシスコ……〔自由行動〕*……ロスアンゼルス→東京 | |
| 宿泊 | サンフランシスコ (ジャクターホテル) | 6泊 | サンフランシスコ(ジャクターホテル) 6泊 ロスアンゼルス(ヒルトンホテル) | 1泊 |

* 自由行動は各自負担となります。

- (注)
- ・ホテルは1人部屋としておりますが、その他ご希望の方はお問合せください。
 - ・全日程には食事を含んでおりませんが、10月8日現地到着後チェックインまで時間がある場合には、サンフランシスコ市内視察を予定しております。
 - ・団体便は予定の人数に達しない場合、一部料金に変更があります。お申込みは申込み金 30,000 円を添え、8月31日までに下記あてにお送りください。

申込み・問合せ

(株)日本旅行 新橋海外センター 日米コンピュータ会議デスク (担当 田村, 小熊)

〒105 港区新橋 2-16-1 ニュー新橋ビル Tel. 591-8380

カタログ展示会への出展

1. 会場 Jack Tar Hotel 展示面積 約 300 m² (予定)

2. 展示方法

- ① 図書室風に傾斜した棚を作り、製品カタログを製品別、会社別等の順に展示します。
- ② 入場者は、そのカタログを見て入用と考えるものについて、自分の名前を書いて請求します。
- ③ 会議終了後、カタログ請求者リストを各出展社に送付します。なお、会議出席者リストも送付できるよう検討中です。
- ④ この展示室における出展社の社員立合いは不要です。詳細説明等を希望される場合

